

10. 地域との連携

10-1 地域連携を巡る動き

那珂川では、河川を基軸とした地域づくりや河川をフィールドとした地域活動が行われるとともに、那珂川の歴史・文化・風土・自然環境を伝える活動や施設等とのネットワークにより地域間の交流が盛んになっている。

(1) 那珂川流域連携協議会

那珂川流域連携協議会は、「那珂川流域の市町村が、流域の風土、文化を活かし、地域の資源を共有、補完し合うことによって、地域の活性化を図るとともに、流域の新たな文化を創造し、より豊かで快適な地域づくりを行うこと」を目的とし、平成12年10月に那珂川流域関連市町村16市町村（当時）の加盟により発足した。

那珂川流域連携協議会では現在、以下のような活動を行っている。

① 川の体験活動の推進

総合的学習の導入により、教育現場での体験活動の重要性が高まってきたことから、那珂川のすばらしさと川の持つ教育力を活かした取り組みを推進するため、市町村教育委員会と連携して、子供たちが水辺体験する「那珂川楽校」の企画実施を行っている。

また、体験学習の際の川遊びの楽しさや危険、川の状況をまとめたガイドブック「川のガイドマップ・手引書」の作成し、川の体験活動の推進を図っている。



図 10-1 那珂川イラストマップ

② 水辺の交流拠点（川の駅）の検討

那珂川流域では、キャンプやカヌー、釣り、自然観察などのアウトドアレクリエーションの拠点や水族館、やな、温泉などの観光施設等も多く、他地域からの来訪者も多く、また子供の体験学習や環境学習の場として川を活用するケースも増えてきており、河川利用者のための休憩施設や川に関する情報整備の必要性が挙げられていた。

こうした状況を踏まえ、既存の水辺拠点施設に休憩機能及び川に関する情報発信機能を持たせた「川の駅」の設置実験を現在8箇所で行っている。

10-2 地域連携における取り組み

那珂川流域の地域連携・交流の促進、河川環境保全意識の高揚等を図るため、国土交通省では河川に関する情報の収集・提供、人材育成等の活動、河川環境整備といった地域づくり活動に取り組んでいる。

(1) 河川整備

沿川の市町村と協力し、水辺にある地域の交流拠点作りとして「水辺プラザ」の整備を進めている。那珂川水系では大洗町、水戸市、那珂川町にそれぞれ「水辺プラザ」を設置し、親水護岸や堤防上の遊歩道等、親しみやすい水辺づくりを行っている。



▲大洗水辺プラザ（大洗町）



▲小川水辺プラザ（那珂川町）

(2) 河川に関する情報の発信

地域の魅力と活力を引き出した交流活動を推進するため、パンフレットやインターネットのホームページ等による河川に関する情報を幅広く地域に提供し、情報交換の促進を図っている。具体的な例として那珂川や久慈川の地域情報や川に関わる歴史・文化や自然環境を紹介している広報誌「久慈川・那珂川見聞録」の発刊や、子供たちが河川に関わる自然環境や歴史・文化について学ぶために役立つ「那珂川・久慈川リバーサイト」等の事例が挙げられる。



▲久慈川・那珂川見聞録



▲那珂川・久慈川リバーサイト

(3) 久慈川・那珂川クリーン作戦

「久慈川・那珂川クリーン作戦」は、国土交通省と久慈川・那珂川沿川市町村と一体となり、沿川住民・河川利用者及び各種ボランティア団体等が自ら行う清掃作業をとおり、河川の環境美化・愛護意識ならびに水質保全に対する一層の意識の向上をめざし、またひとりひとりの「河川を大切にする心」の啓発を図ることを目的とし、毎年「河川愛護月間」である7月の第2日曜日に実施されている。



近年のクリーン作戦の参加人数とゴミ収集量について図 10-4 に示す。

▲ 久慈川・那珂川クリーン作戦の様子

表 10-1 久慈川・那珂川クリーン作戦の参加人数とゴミ収集量の推移

年 度	参加人数 (人)	ゴミ収集量 (t)
H4	15,350	50
H5	17,375	63
H6	17,453	47
H7	18,662	42
H8	19,842	39
H9	22,723	38
H10	22,910	53
H11	25,258	58
H12	55,286	365
H13	58,709	320
H14	30,417	73
H15	27,304	60

(出典：常陸河川国道事務所資料)

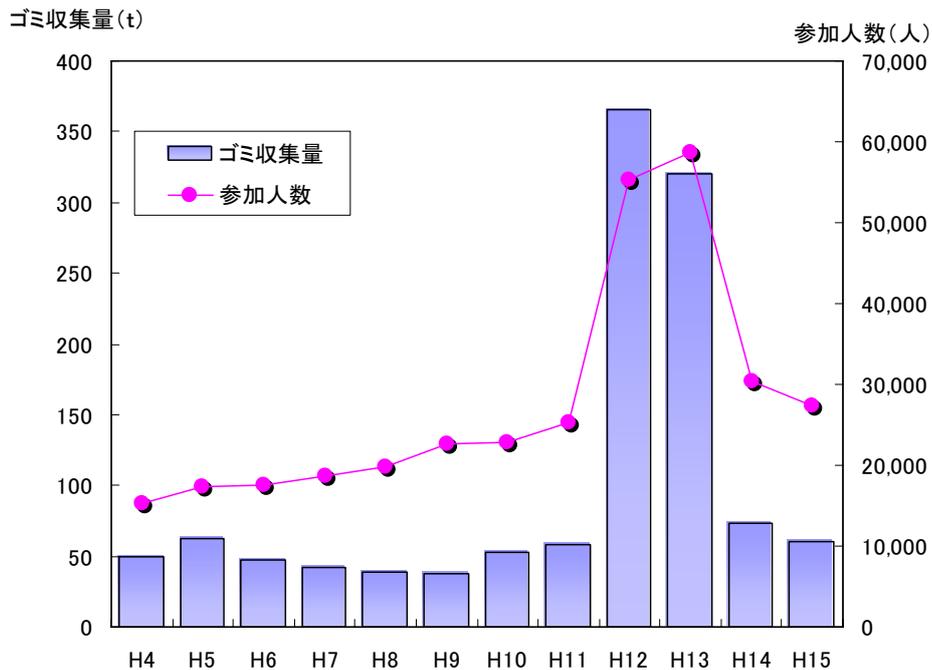


図 10-4 久慈川・那珂川クリーン作戦の参加人数とゴミ収集量の推移